

報道関係各位

2012年2月1日  
ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社

## ウォッチガード、中小企業向けの新しいセキュリティ・アプライアンスを発表

### WatchGuard XTM 33 が次世代セキュリティ機能を中小企業へ提供

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：本富顕弘、以下ウォッチガード）は、本日、新しいセキュリティ・アプライアンスである WatchGuard XTM 33 を発表し、出荷を開始しました。

WatchGuard XTM 33 は、50～75 ユーザ規模の中小企業をターゲットにしたデスクトップ型のセキュリティ・アプライアンスです。次世代型 UTM（統合脅威管理）ソリューションである WatchGuard XTM（eXtensible Threat Management = 拡張可能な脅威管理）の Firewall XTM Pro OS を搭載し、容易な操作性で、企業のネットワーク、アプリケーション、データを強力に保護します。

WatchGuard XTM 33 は、小型サイズでかつ中小企業で求めやすい価格でありながら、エンタープライズ企業クラスのセキュリティ・アプライアンスと同等のパフォーマンスとセキュリティを実現。最大 850 Mbps のファイアウォールスループット、最大 100 Mbps の VPN スループット、そしてセキュリティ機能を全て利用した場合の UTM スループットで最大 45 Mbps の高いパフォーマンスを提供します。

また、WatchGuard 独自のプロキシ技術によって、強力なファイアウォール機能を提供しています。有線モデルに加え、無線モデルも提供し、802.11a/b/g/n のワイヤレス環境を構築することもできます。

#### ◆その他の WatchGuard XTM 33 の特長

##### VPN 機能

Apple iPad/iPhone などの iOS デバイス、またはリモート環境の PC との VPN 接続を簡単に設定することができます。

##### アプリケーション制御

WatchGuard XTM の UTM 機能の一部である「Application Control」を活用することによって、ユーザは簡単に次世代ファイアウォール機能を利用することができます。Facebook など Web 2.0 アプリを管理し、社員が社内の PC を私的に利用していないか把握することによって、生産性を高めることができます。

##### マルウェアとネットワーク攻撃をブロック

最新の IPS（侵入防止）、ゲートウェイ・アンチウイルス、迷惑メール対策機能を組み合わせることによって、WatchGuard XTM 33 は、マルウェア、スパイウェア、ワーム、ネットワーク攻撃などを中小企業のネットワークでブロックすることができます。

##### クラウドベースのセキュリティ

クラウドベースの IP と URL のレピュテーション・ソリューションである WatchGuard RED (Reputation Enabled Defense) を活用することによって、インターネット上で脅威をブロック。ゲートウェイに設置されたアプライアンスでの無駄な処理を低減し、パフォーマンスを高める事ができます。

##### 先進的な管理とレポート機能

リアルタイム監視、ログ機能、そして 65 種類以上のレポートによって、ネットワークで「誰が」「いつ」「なにを」しているかを把握することができます。

## ■今回の XTM 33 発表に関するコメント

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社 代表取締役社長 本富顕弘

この度リリースの XTM33 は、日本市場で売れ筋の XTM2 ならびに XTM5 シリーズの間に位置付けられるモデルで、更に多くのお客様に選択の幅を提供します。また、このレンジでニーズが拡大している MSS（マネージド・セキュリティ・サービス）にも最適なアプライアンスとして、多くのサービスプロバイダ様にもご採用頂けるものと考えます。

日本の中小企業市場においては、ルータからファイアウォール、そして UTM のニーズが急速に拡大しています。おかげさまでウォッチガードもそのトレンドの通り、昨年度は弊社日本法人として記録的な売上を達成することができました。そして、今年第一弾としてリリースする XTM33 は、必ずや日本のお客様に次世代のネットワーク・セキュリティとそれによる安心をお届けします。

## ■ WatchGuard Technologies 社について

WatchGuard Technologies は、1996 年よりネットワーク・セキュリティ・アプライアンスにおけるテクノロジー・リーダーとして、信頼性が高く、管理し易いセキュリティ・ソリューションを全世界の企業に提供しています。WatchGuard XTM は、アプリケーション・プロキシー技術に基づくマルチレイヤーの高度なセキュリティを実現し、導入・運用、サポートのし易さ、高い費用対効果を提供します。

WatchGuard は株式非公開企業で、本社は米国ワシントン州シアトルにあり、北米、ヨーロッパ、アジアパシフィック、ラテン・アメリカに支社があります。日本法人であるウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社は、2000 年に設立。多くのパートナーを通じて、アプライアンスの販売のみならず、マネージド（管理）サービスも提供しています。日本市場では、中堅・中小企業のセキュリティの「見える化」、セキュリティとネットワークの「管理」など拡大するニーズに対し、ソリューションを提供しています。

詳細はウェブサイト <http://www.watchguard.co.jp> をご参照下さい。

### ◆本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社マーケティング担当山之内真彦

TEL : 03-5456-7880、FAX : 03-5456-5511、電子メール : [info-jp@watchguard.com](mailto:info-jp@watchguard.com)

〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町 26-1 セルリアンタワー15階